

川西市自殺対策計画(案)に係る  
市議会意見と市の検討結果

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果
1	【全体】	<p>「自殺」について「自死」という表現が広がっている流れがある。パブリックコメントの意見も踏まえ、遺族に配慮した表現にしていきたいと思います。</p>	<p>『自死・自殺』の表現に関するガイドライン～『言い換え』ではなく丁寧な『使い分け』を～(NPO法人 全国自死遺族総合支援センター)においては、行為を表現するときは「自殺」、多くの自殺が「追い込まれた末の死」というプロセスの結果であることをふまえて、「自殺した」ではなく「自殺で亡くなった」と表現、遺族や遺児に関する表現は「自死」と表現することを推奨しています。</p> <p>計画中で「自死」を使用しているのは遺族支援の項目(P27)ですが、「自殺した(する)」という表現はアンケート結果や「市民の声」において残っています。</p> <p>上記のガイドラインを参考にしつつ、使い分けを行っています。</p>
2	【全体】	<p>「生き心地のよい」という表現がしっくりこないので、ほかに適切な表現があれば改めていただきたいと思います。</p>	<p>「生き心地の良い」という表現はまだ馴染みがありませんが、「生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由(わけ)がある」著：岡檀(おかまゆみ)氏を参考に、本市においても「生き心地のよい社会をめざして」をメインテーマに毎年いのちとこころのセミナーを開催しており、少しずつこの表現が普及してきているところです。「生き心地のよいまち」をめざし、市民にこの表現が浸透するよう自殺対策計画の推進に努めていきます。また、本計画中において、注記として解説を追記します。</p>
3	<p>【1ページ】 第1章 計画の策定にあたって 1. 計画策定の背景と趣旨</p>	<p>「生き心地のよいまち」「生きることの促進要因」「生きることの阻害要因」について解説を入れていただきたいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。</p>

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果
4	<p>【4ページ】 第1章 計画の策定にあたって 4. 計画の策定方法</p> <p>【11ページ】 第2章 川西市を取り巻く現状 2. 市民アンケート結果の概要</p>	<p>アンケートの実施状況について、「無作為抽出によって」と記載していただきたいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。</p>
5	<p>【10ページ】 第2章 川西市を取り巻く現状 1. 統計からみる現状</p>	<p>「参考：図表2-8の数値」の単位は「人」でしょうか。補足説明を入れていただきたいと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり修正します。</p>
6	<p>【10ページ】 第2章 川西市を取り巻く現状 1. 統計からみる現状</p>	<p>(1) 回答者の属性について、60歳以上の回答者が半数以上を超えていることから、60歳以上については、5歳刻みで集計するなどされてはいかがでしょうか。</p>	<p>アンケート実施時の年齢区分を10歳刻みにしているため、5歳刻みでの再集計はできません。</p>

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果
7	【17、18ページ】 第2章 川西市を取り巻く現状 1. 統計からみる現状	表の例示について、左右のグラフと同様の表記にしたほうがわかりやすいのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり修正します。
8	【19ページ】 第3章 計画の基本的な考え方 1. 基本理念	理念では「健康」と表記されているが、計画中には「健幸」との表記もあります。どのような使い分けなのでしょう。精査いただきたいと思えます。	世界保健機関における「健康」の定義には「幸せな状態にある」という概念が含まれています。本計画においては、前述の定義や市民にわかりやすい表現にするということを踏まえ、理念は「健康」とし、市の事業や組織で「健幸」が使用されているものにつきましては、固有名詞として「健幸」の表記を使用しています。
9	【20ページ】 第3章 計画の基本的な考え方 2. 計画の基本目標	計画値であるので17人まで下げる、30%まで減少、その考え方はわかりませんが、自殺者数の目標値、この表現はぜひ変えていただいて、30%減少させていく目標など、表現を改める方向でぜひ検討していただきたいと思えます。	国・県の計画を参考に、取組内容に対する効果を分析したり振り返りを図ったり、今後の取組みに活かすために目標を明確にする必要があるため現行どおりとします。なお、表現方法について修正します。

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果
10	【22ページ～】 第4章 施策の展開	計画案ページでは、性別で見る自殺の原因と動機の中で非常に大きな問題で健康問題ということがあります。これは、病気や精神的な病気、肉体的な障害、精神的な障害などが非常に大きい要因を示しているということです。障害福祉の部分や健康づくりを強調された表現が欲しいと感じていますが今から直らないものでしょうか。	計画案27ページ 自殺予防への支援 市の主な取り組み2 に含まれていると解していますが、健康問題や障害に関する記載を追記します。
11	【22ページ～】 第4章 施策の展開	性的マイノリティーの部分は国の大綱あたりに出ていると思われませんが、そういった方々への支援や理解の促進の視点は必要ではないかと考えています。全体の計画の中では含まれているかもしれませんが、そこが読み取れません。もっと施策に入れ込んでいくことが必要ではないかと思えます。	ご指摘を踏まえ、計画案1ページ 第1章計画の策定にあたって 1.計画策定の背景と趣旨 2段落目に追記します。
12	【28ページ】 第4章 施策の展開 1.基本施策 基本施策3 生き心地のよいまちづくりをめざして 子どもが安心して生活できる環境づくり	児童・生徒と限定をされたものであるが、就学前の乳幼児期からの自殺対策が必要であると考えます。	発達段階に応じた対応、相談というものができる体制が必要であると考えております。計画案28ページ 子どもが安心して生活できる環境づくり 市の主な取り組み1にご指摘の内容を追記します。

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果
13	<p>【28ページ】 第4章 施策の展開 1. 基本施策 基本施策3 生き心地のよいまちづくりをめざして子どもが安心して生活できる環境づくり</p>	<p>児童虐待防止法の改正ポイントから考えると、児童虐待やDVに対する取り扱いも盛り込まれたらよいかと考えます。</p>	<p>計画案28ページ 子どもが安心して生活できる環境づくり 本文にご指摘の内容を追記します。</p>
14	<p>【28ページ】 第4章 施策の展開 1. 基本施策 基本施策3 生き心地のよいまちづくりをめざして子どもが安心して生活できる環境づくり</p>	<p>子どもが学校でいじめを受けて帰ってきた場合に、SOSというのは保護者が受け止めて気付いてあげないとだめなことだと思います。そういった意味で保護者への啓発という言葉をどこかに入れていただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>計画案28ページ 子どもが安心して生活できる環境づくり 本文及び市の主な取り組み1にご指摘の内容を追記します。</p>